

「秋の特別企画展」  
デザインされた  
万葉集  
上野博之彩画展



さ 19-4151



し 17-4021

《上野博之プロフィール》

- 1945年 富山市に生まれる
- 1981年 上野博之デザイン室を設立し、国内外のデザイン・ポスター展に入賞入選。ドイツ・ディノエサムリング美術館、母校の(1964年富山県立高岡工芸高等学校デザイン科卒業)青井記念館美術館ほかに作品収蔵。富山と韓国の交流ポスター展を提案し両国で巡回展を開催。富山と韓国・江原道の文化交流をまとめた「江原道の詩」を出版(ハート工房)
- 2007年頃～ 絵と文字・ことばが織りなすアートを模索
- 2008年 万葉の世界に「うつろふ平仮名」をテーマに作品を創作
- 2010年頃～ 平和美術展ほか県内で作品を発表
- 2011年 日米美術交流展「日本のイメージ多様展」MARYL MARTIN GALLERY(カンザス)へ出品
- 2012年 上野博之彩画展を射水市・黒部市・高岡市・富山市で開催
- 2013年 張完泳・上野博之交流展をGALLERY LUBEN(ソウル)で開催

上野博之による  
ギャラリートーク

9月20日(金)・10月12日(土) 午後4時～

グラフィックデザイナーとして第一線で活躍中の上野博之氏は、数々のポスター、パッケージ、装幀デザインなどを手がけるかたわら、久泉迪雄氏主宰「綺羅短歌の会」の同人として歌世界に親しまれてきました。

そうした中、2007年頃より、絵と文字、ことばが織りなす美に魅了され、翌年より万葉の世界をモチーフに「うつろふ平仮名」をテーマに作品を創作。平和美術展(富山)や日米美術交流展のほか、韓国や県内外でも作品を発表されてきました。

グラフィックデザインの持つ自由さ・大胆さ、抽象的幾何学的な中に広がる日本の情緒、文字が命を得て歩き始めたような線描。そのすべてが調和した作風は、モダンな和の魅力にあふれ、《越中万葉のモダニズム》とも称したくなるような境地です。

本展では、これまで氏が描かれてきた「うつろふ平仮名」シリーズの原画と、国内外のデザイン・ポスター展の受賞作品、富山の自然と文化の魅力を表現したポスターを展示いたします。

越中万葉歌と古代日本人が生み出した仮名文字の《かたち》がとけ合う詩情豊かな作品世界をご覧ください。ただきたいと思えます。



よ 18-4136



《交通のご案内》

- ・JR高岡駅より車で25分
- ・能越自動車道高岡北ICより車で20分
- ・JR高岡駅正面口4番バスのりばよりバスで約25分乗車…伏木一宮下車…徒歩7分(西まわり古府循環・東まわり古府循環・西まわり伏木循環など)
- ・JR氷見線伏木駅より徒歩25分

《利用のご案内》

- ・開館時間 午前9時～午後6時(入館は午後5時15分まで)
- ・休館日 火曜日
- ・入館料 一般…210円 中学生以下無料 団体(20名以上)・65歳以上…160円

◎歴史館の最新情報、日々の出来事はこちら!

- ※ツイッター
- ・家持くん @manreki
- ・万葉人 高岡市万葉歴史館館長 @akahitomusimaro
- ・いけぬし君 @ikenushi
- ・おおいらつめちゃん @oiratsume
- ※坂本信幸万葉日記(館長ブログ) <http://www.manreki.com/kancho/>

高岡市万葉歴史館